

統計調査にご協力を

2010年世界農林業

センサスが始まりました

2010年世界農林業センサスでは、わが国の農林業の生産構造や就業構造等の実態、農山村地域の現状を調査し、各国農林業との比較を行うことで、わが国の農林業の実態を明らかにします。大切な調査ですので、対象となる方は調査にご協力をお願いします。

◇世界農林業センサスとは

農林業の国勢調査といわれている「2010年世界農林業センサス」が全国一斉に行われます。この調査は、農林業の生産構造や就業構造を明らかにして、農林行政の基礎資料を作成・提供することを目的としています。

◇調査票調査の概要

▼対象Ⅱ農林産物の生産または委託を受けて農林業作業を行い、生産・作業に係る面積や頭数が一定規模以上の方(代表者)

2月1日を基準日として、各調査員が対象となる方(代表者)それぞれを訪問して、経営耕地面積等の聞き取り調査を行います。また、調査票調査の対象となる方(代表者)には、調査票を配布させていただきますので、正確な

- ▼調査事項
- ①経営の態様
- ②世帯の状況
- ③農業経営の特徴
- ④経営耕地面積等
- ⑤農業用機械の所有
- ⑥農業労働力
- ⑦農作物の作付面積等、家畜の飼養状況
- ⑧農産物の販売金額等
- ⑨農作業の委託・受託の状況
- ⑩保有山林面積
- ⑪林業労働力
- ⑫育林面積等、素材生産量
- ⑬林産物の販売金額等

◇結果はほかの統計調査に利用します

各種統計調査の母集団情報として利用されています。

- ・農業経営統計調査
- ・基本構造動態調査
- ・畜産統計調査
- ・容器包装利用・製造等実態調査 など



⑭林業作業の受託の状況
⑮そのほか農林業経営体の現況を把握するために必要な事項

◇回収を行う各調査員

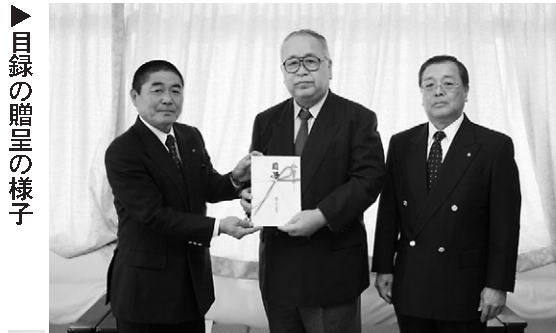
調査に従事する調査員は、市区町村の推薦に基づいて、県知事が任命した特別職の地方公務員です。調査員は回収のほか、調査票の記入漏れなどがなければ確認します。調査員へのご理解とご協力をお願いします。

なお、調査員は必ず「調査員証」を携帯しています。不信な点等がありましたら、調査員証の提示を求めてください。

〒700 0316
同秘書広報課広報統計班

ソーラー時計を アリーナに寄贈

日ごろから社会体育活動に支援をいただいている大網ロータリークラブから、ソーラー時計の寄贈がありました。贈られたソーラー時計は、大網白里アリーナに設置されました。



▲大網白里アリーナに設置されたソーラー時計

九十九里6漁協が 合併仮契約調印式

九十九里地域7市町村にまたがる6漁業協同組合(白里漁協・九十九里町漁協・長生漁協・成東町漁協・山武市連沼漁協・横芝漁協)が12月26日、一宮町で合併に向けた仮契約の調印式を行いました。

会場には、地元選出の県議会議員をはじめ、関係市町村長や議会議員等も出席。水産資源の一体的管理や地元水産物のブランド化などを目的とした新組織設立への第一歩を歩み始めました。



▲12月26日に行われた漁協の調印式

栄養士だより 92

外に出られない時のために ~家庭での食料品備蓄~

体調を崩した時やインフルエンザなどで外に出られない場合に備えて、皆さんの家庭では、食料品を備蓄していますか。

「必要だと思ふけれど、備蓄なんて面倒」という人も多いかもしれませんが、いざという時に慌てないように準備しておくようにしましょう。

なお、乳幼児や高齢者、病人がいる場合は、必要に応じて水分を多めに備蓄したり、ジュースや栄養剤などを用意したりしておくよう心掛けましょう。

◇備蓄食料品をチェック

備蓄食料品は、使用したら補充しておきましょう

- ①主食
米(4人家族2週間分で米5キロ×2袋が目安。もち、レトルトご飯、アルファ米なども可)、乾パン、パンの缶詰、クラッカー、インスタント麺
- ②主菜
卵、缶詰(魚、肉、豆類)、レト

ルト食品(カレー、牛丼、ハンバーグ等)、充填豆腐

③副菜

玉ねぎ、かぼちゃ、芋など日持ちのする野菜、乾燥食品(わかめ、切干大根、かつお節)、缶詰(コーン、トマト、マッシュルーム等)

④乳製品

スキムミルク、チーズ、ヨーグルト、長期保存用牛乳

⑤水分

飲料水(1日1人当たり3リットルが目安)、野菜ジュース、インスタントスープ(みそ汁、コーンスープなど)

⑥その他

果物缶詰、調味料(余分に1袋買い置きする)、ふりかけなど

(参考)農林水産省新型インフルエンザ関連情報「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」

URL <http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/pdf/shininful.html>

同健康介護課健康指導班 ☎(72)8321

保健師だより

花粉症を理解し対策を

花粉症は、花粉の飛ぶ季節にだけ症状が現れる季節性のアレルギーです。スギ花粉の飛散する2月~4月ごろ、ヒノキ花粉の飛散する3月~6月ごろに症状が悪化する人が多くなります。現在、日本人の約20%が花粉症だといわれ、その数は年々増え続けています。

◇花粉症のメカニズム

花粉症の正体は、花粉に対して人間の体が起こす異物反応です。体の免疫反応が、花粉に過剰に反応して花粉症の症状が出ます。体が花粉を外に出そうとするために、くしゃみで吹き飛ばしたり、鼻水や涙で花粉を洗い流そうとしたりします。

◇花粉症への対策

◎服装・装着品

化学繊維のものには花粉が付着しにくく、付着した花粉を吸い込む量を減らすことが期待されます。また、マスクを装着すると、吸い込む花粉を約3分の1から6分の

1に減らし、鼻の症状を軽くする効果があります。通常のメガネを使用するだけでも目に入る花粉量は約3分の1に抑えられます。

◎うがい

のどについた花粉を除去するのに効果があります。

◎室内の換気と掃除

花粉飛散シーズンでも、換気する必要のある時があります。換気時の窓は小さく開け、短時間にとどめることが必要です。

◇そのほかにも・・・

睡眠をよくとり、規則正しい生活習慣を身に付けることは、正常な免疫機能を保つために重要です。また、風邪をひかないこと、お酒の飲みすぎに気をつけること、たばこを控えることも鼻の粘膜を正常に保つために重要です。

早めに花粉症対策をして、この時期を少しでも快適に乗り切りましょう。

同健康介護課健康指導班 ☎(72)8321